



防災行政無線

災害時の情報

災害時に大切なのは命を守る「情報」です。市では、さまざまな方法で、災害・防災情報をお知らせしています。可能な限り、多くの情報収集手段を活用し、いざという時に備えましょう。

防災行政無線を電話で確認

防災行政無線の放送内容を電話で確認できるサービス。通話料金はかかりません。フリーダイヤル
☎0120-62-1281

防災メールマガジン

「防災メールマガジン」に登録すると、スマートフォン、携帯電話、パソコンから、「防災行政無線放送」の内容をメールで受け取ることができます。サービスは無料で利用できますが、情報の送受信に関わる通信料は利用者の負担となります。



▲携帯電話用



▲スマホ用

テレビのdボタン

テレビのリモコンにある「dボタン」をご利用ください。各種警報や雨雲の動き、河川の水位情報、避難情報や避難所の開設状況など、さまざまな情報をテレビ画面で確認することができます。



リモコンのdボタン

9月1日は防災の日！ 想定外を想定内に 地域で防災を考える

消防防災課 ☎52-2173



8月に入り、全国では大雨災害による土砂崩れや川の氾濫など、さまざまな豪雨災害が起こっています。市も平成28年、令和元年に大きな台風被害に遭いました。災害時、いざという時にどのような行動を取るべきか、日頃から確認しておきましょう。

地域で取り組めること

■お互いの命を守る

お互いをよく知る地域住民が、災害を考え協力して活動することが、命を守ることに繋がります。

市は、このような活動をする自主防災組織の結成を推進しています。お住いの町内会でも、自主防災組織を結成しませんか。

活動内容は、大きく「平常時の活動」と「災害時の活動」の二つに分けることができます。

▼平常時の活動の例

- 1 防災知識の普及啓発
- 2 地域内の安全確認・点検
- 3 防災訓練
- 4 防災資機材の備蓄

現在、28団体が各地区で活動を行い、地域防災力の向上に取り組んでいます。

■自主防災組織の結成を支援しています

市は、市内全域での自主防災組織結成を目指して、各市民センターと協力し、結成を支援しています。

地域の会合の場や防災研修会などで自主防災組織の説明や活動計画の策定支援に取り組んでいますので、気軽に相談ください。



小久慈地まちづくり協議会が実施した自主防災研修会

防災士を養成します

防災士は、特定非営利活動法人日本防災士機構が認証する民間資格です。防災リーダーとして、地域全体へ向けた活躍が期待されます。

■防災士養成研修講座

▼日時：

- 1 11月26日(土) 8時10分 ~ 17時30分
- 2 11月27日(日) 8時30分 ~ 18時30分

▼会場：市防災センター

3 階防災教育ホール

▼受講料：無料(市負担)

▼対象：市内在住者で年齢の制限はありません

▼募集期限：10月中旬

定員50人に達し次第終了します

防災士とは、防災に関する一定の知識・技能を修得した人です。地域のリーダーとして、防災力を高める地域活動を行い、有事の際は、町内会や防災機関と連携して活動するなどの役割が期待されます。

市は、市民の防災知識の習得と地域防災リーダーの人材育成のため、2日間の防災士養成研修講座を開催します。詳しくは、消防防災課へ問い合わせください。

自主防災組織を結成した際は、組織結成の経費と活動経費を助成します。詳しくは消防防災課へ問い合わせください。

■組織結成に係る経費を助成

▼補助金額：上限10万円

(一回限り)

▼補助対象の経費例

- 1 防災訓練や研修会などの実施経費
 - 2 防災資機材(ヘルメットや発電機、ラジオなど)
 - 3 備蓄食料の購入経費
- 活動に要する経費を助成
- ▼補助金額：上限10万円(年一回限り)
- ▼補助金額の算定：組織割6万円+世帯数×2000円で計算

事業所も避難ルートや避難所の確認を

新たな津波浸水想定が岩手県から公表され、避難を軸とした対策を推進することが求められます。

市内の各事業所、施設の管理者も、いざという時に従業員や施設利用者の命を守るために、市HPに公表している津波浸水想定図で、左の確認事項①②③を事前に確認しましょう。

▼津波浸水区域URL：

<https://www.city.kujirawate.jp/kurashi/saigaihou/sai/>

▼確認事項：

①災害リスク：事業所等が津波浸水想定区域に立地しているか

②避難場所：事業所から近い津波避難場所はどこか

③避難経路：事業所等から避難場所までの安全な避難経路はどのルートか



津波避難訓練